

審議会議事要旨【要点】

会議名	日の出町総合計画等審議会（第1回）	
開催日時	令和8年7月24日（金） 午前10時～午後0時	
開催場所	役場3階 第1・2会議室 オンライン併用	
次 第	1 開 会 2 会長挨拶 3 町長挨拶 4 議 題 （1） 第五次日の出町長期総合計画（後期基本計画）令和7年度事務事業評価について 資料1・参考資料1・参考資料2 （2） 日の出町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～令和7年度）令和7年度事業の進捗状況及び評価について 資料2 （3） 日の出町行政改革（その5）の進捗状況について 資料3・参考資料3 （4） その他 4 閉 会	
配布資料	資料1 第五次日の出町長期総合計画 後期基本計画事務事業評価報告書（令和7年度実施事務事業） 資料2 日の出町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況・事業評価報告書（令和7年度） 資料3 日の出町行政改革大綱・日の出町行政改革（その5）令和7年度実施状況報告書 参考資料1 日の出町行政評価実施要綱 参考資料2 日の出町令和8年度各会計当初予算政策（基本目標）別主要事業計画 参考資料3 日の出町行政改革推進計画2026～2033	
出席者	委員	神田芳男（会長）、原田輝和（副会長）、濱松裕子、野口隆昭、伊藤雅夫、神田節子、宮林佳子、野口純子、馬場由美子、堀江雅明、豊島康雄、込山英俊、浦明子、羽生英昭、原嶋智恵子、中居久良（敬称略） 【WEB出席】 五十嵐歩（敬称略）
	事務局	企画財政課長、企画政策係職員
議事要旨		

(1) 第五次日の出町長期総合計画（後期基本計画）令和7年度事務事業評価について

事務局より資料1・参考資料1・参考資料2に基づき説明を行った。

【質疑・意見】

委員：「学童クラブ事業の充実及び運営方法の改善」の取組について、「子供目線に立った取組の推進が必要」と評価しているが、今後の改善・見直しとして「委託化について検討していく」とある。委託化が、子供目線に立つということにつながるのか。わかりにくいため、説明を加えた方が良い。

事務局：今後、子供の意見も踏まえ、委託化を含めて検討していくという意図である。委託化は、方法論の一つであるため、記載内容について見直す。

委員：「公共施設マネジメントの推進」について、重要な事業であるが、取組が進まなかった理由は何か。また、公共施設等整備計画担当が新設されたが、これから推進が可能なのか。

事務局：施設の管理は、各所管課において「公共施設等総合管理計画」に基づいた個別管理を行っている。町の現状として、例えば子供の数が減少している中、町内に小学校は3校ある。効率的な行財政運営を行うには、横断的に施設の在り方を検討していく必要がある。今後は、新設した担当を中心に検討を進めていく。

委員：公共施設に関する事務局の説明の中で、子供の減少や小学校の現状について言及があったが、小学校の統廃合も考えているのか。

事務局：現状の課題として説明している。現時点で統廃合は検討していない。

委員：「総合文化体育センター設置に向けた取組」について、ニーズを把握するとあるが、具体的にどのような方法で行っていくのか。

事務局：まずは、庁内検討により施設にどのような機能を持たせるか等の整理を行い、その上で、町民の意見を伺う場を設けることを想定している。

委員：「総合文化体育センター設置に向けた取組」について、三多摩地域にある施設の調査は既に行っているのか。

事務局：平成30年に計画を策定した際には他団体の施設を視察している。今回の計画見直しについては、現在、庁内での検討を進めている段階であり、現時点では視察は行っていない。

委員：現予定地は、車の利用が必須になる。建設地を再検討するにあたっては、例えば店舗がある地域など、経済効果も考慮すべきである。また、猛暑により、屋外で子供を遊ばせることが困難な状況の中、室内で子供が自由に走り回れる場所を求める意見も届いている。幼い子供が使えるような、利用しやすい場所にあると良い。

事務局：いただいた貴重な意見を踏まえ今後検討していく。

委員：「デジタル技術の活用による生涯学習機会の拡充」について、オンライン対応の講座を拡充していくという方向性は良いが、対面講座へのオンライン併

用は参加のハードルが高いと感じる。また、参加者同士の交流を求める町民も多い。参加者数の増を目指すのならば、オンライン特化型の講座を設けることや若年層の参加を促すため若年世代の学習ニーズを反映した講座の設定も重要である。

事務局：ご指摘いただいた内容を踏まえ、テーマ設定、実施方法等検討していく。

(2) 日の出町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～令和7年度）
令和7年度事業の進捗状況及び評価について

事務局より資料2に基づき説明を行った。

【質疑・意見】

委員：人口が計画策定当時と比較し899人減少している。総合戦略の成果を町はどう総括しているのか。

事務局：総合戦略の施策の推進により、人口減少幅を約900人に抑制できた点は一定の成果と評価している。一方で、各施策には課題も残されており、それらの検証結果を第六次長期総合計画に反映している。特に年少人口が減少している状況を踏まえ、施策展開を図っていく。

委員：基本目標ごとの目標値が未達成である一方、各施策の進捗は87%に達している。そもそも、事業が達成されれば、目標値が達成されるという仕組みになっていなかったのではないか。この課題を踏まえ、第六次の長期総合計画はつくられているのか。

事務局：総合戦略の施策は、人口減少対策及び地域活性化を目指した取組であったが、各施策の成果が数値目標達成につながらなかった。次期の計画は、これまでの課題や、国の新たな方針も踏まえて策定している。

委員：各課で実施可能な事業で施策体系を構築した結果、成果が全体に波及しなかった可能性がある。この課題を踏まえ新たな計画が策定され、また組織も4月に改正されていることから今後に期待したい。

委員：「地域包括ケアシステムの構築」について、在宅高齢者数をKPIに設定しているが、KPIと取組内容が結びついているのか疑問である。在宅医療と介護の連携体制の構築を推進することで、支援を受けている方のQOLの向上にはつながるが、要介護状態の方が在宅で暮らし続けるには、ケアサービスの拡充が必要である。

事務局：設定した在宅高齢者数というKPIは、ご指摘のとおり本取組に対する指標としては課題があった。

委員：在宅医療の充実は重要であるため進めていただきたい。プロセス評価など、違う評価方法も検討されたい。

(3) 日の出町行政改革（その5）の進捗状況について

事務局より資料 3 に基づき説明を行った。

【質疑・意見】

委員：今後も地域振興費の減額に見合った行政改革を行っていく必要があるが、町はどう考えているのか。

事務局：令和 7 年度の効果額 3 億 8 千万円は、主に福祉施策の見直しによるものである。経常収支比率も改善傾向にあるが、今後は、税をはじめとした自主財源の確保に注力していくことが必要である。まずは、市街化区域編入を進めていく。

(4) その他

委員の任期について事務局から説明を行った。

【質疑・意見】

なし